

## 東北地方太平洋沖地震 被災地への支援物資について

【2011年3月17日】日本ケロッグ合同会社(本社:東京都港区、代表職務執行者:長岡慶一)と米国のケロッグカンパニーは、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」被災者の救済・復興活動を支援するため、総額500,000米ドル相当(約4千万円 1ドル80円の換算レートにて換算)の寄付を行うことを決定いたしました。そのうち、コーポレート・シティズンシップファンドから集められた現金に関しましては、アメリカ赤十字社および日本赤十字社を通じて、また、製品に関しては、日本ケロッグのシリアルおよびシリアルスナックを対象として被災者の皆さんに一刻も早くお手元に届くよう、手配をいたしました。

提供した商品はシリアルおよびシリアルスナック 22万800食分で、各関係省庁、各地自治体や自衛隊などと連携し、支援を進めております。

シリアルは、約1年間の保存が可能です。被災地において、精製食品で過ごす場合に不足しがちなビタミン・ミネラルなど微量栄養素を含んでおり、栄養バランスが良く、そのまま食していただけます。

また今後、オーストラリアやタイをはじめとする世界各国からも支援物資が到着する予定ですので、これらも合わせて被災された方々への支援を進めてまいります。

東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また、皆様の安全と一日も早い復興を心からお祈りいたします。

■日本ケロッグ合同会社 日本ケロッグ株式会社は、2011年3月15日より、日本ケロッグ合同会社として組織を改めました。「より健康な世界のために」を基本精神に、各種シリアルを製造しています。日本においては1962年(昭和37年)10月に、米国ケロッグ社の100%資本で設立されました。ケロッグ社は1894年、ケロッグ兄弟が米国ミシガン州にて、保養所の人々のために食物繊維が豊富な穀物や大豆を材料に、食べやすく栄養が豊富な食品として朝食シリアルを開発したことに由来します。それから100年以上、現在に至るまで、ケロッグのシリアルは世界180カ国以上の食卓で愛され続けています。主な製品ブランドに「コーンフロスティ」、「オールブラン」、「ブランフ레이크・プレーン」、「玄米フ레이크」などがあります。詳細は、<http://kellogg.co.jp/company/> をご覧下さい。